

幼児体育の研究

——発表会——

福 原 麻 子*

Physical Education for Young Children

——The Day of Performance at Kindergarten——

Asako FUKUHARA

日常の保育指導の成果を一堂に集めて発表される学芸的行事に、「遊戯会、発表会、展覧会」などが代表されます。幼児が一生懸命練習した劇的活動や、リズム表現を楽しみふんい気のなかで公開し、父母やともだち同志で励まし合ってみる会は、楽しくほほえましいものである。みんなの前で歌や劇、リズム表現することは、発表力を養い、友だちといっしょに演じたり見たりすることによって創造性を豊に育てます。又保育者にとっては、その催しの時だけでなく、催しを迎えるまでの指導並びに、その日までの活動や準備の過程で子どもたちが大きく飛躍していく励ましの場にもなり、より教育的な効果につながります。子どもは、誕生日をはじめいろんな発表会が開かれることは大好きです。舞台の上で歌ったり、踊ったり、演じた経験や活動が青少年期になって、幼稚園時代のなつかしい思い出として残っているものです。

目 的

本学幼児教育学科では、紀要20号で「うんどう会」と同様に、一期生より「ゆうぎ会」を催して6年目を迎えた。学生の手で準備、計画されて当日に望んでいます。「うんどう会」と同様、現場と接触の少ない学生に、現場の発表会の内容や計画等を把握するため、現在幼稚園に勤務している卒業生に協力をお願いして、アンケート形式でお答えいただいた。当初30園におねがいしましたが、19園63.3%の回収率でまとめてみました。

* 幼児教育学科

方 法

調査対象 幼稚園勤務の卒業生（1期生～3期生）19園（広島市内及び呉・東広島市内・岩国市内）。

調査期間 昭和62年11月1日～11月30日に質問式アンケート調査用式で、内容は下記の要領で実施した。

毎年貴園で催されている発表会についてはお伺いします。該当するものに記入又は○印をして下さい。

1. 貴園の発表会の名称を記入して下さい。

2. 発表会は毎年何月頃ですか、記入して下さい。

3. 発表会の稽古は何ヶ月前から始められますか。
ヶ月前

4. プログラムに編成される内容のものに○印をして下さい。

イ. オペレッタ ロ. 言語劇 ハ. 舞踊劇

ニ. 劇あそび ホ. 合唱 ヘ. 合奏

ト. 大型紙芝居 チ. その他（内容 ）

5. 発表会の衣裳について、該当するものに○印をして下さい。

1. 保育者がデザインして作る。

2. 毎年同じ衣裳でやる。

3. 保育者が創意工夫して保護者に作ってもらう。

4. 保護者にまかせる。

5. 保育者と保護者が協同で作る。

6. 専門家に頼む。

7. その他（内容 ）
6. 大道具、小道具について、該当するものに○印をして下さい。
- 園長が作る。
 - 毎年同じ道具を使う。
 - 保育者が作る。
 - 保育者と保護者が協同して作る。
 - 保護者にまかせる。
 - 専門家にまかせる。
 - その他（内容 ）
7. 会場はどこを利用しますか。
- 園の講堂 2. 小学校の講堂 3. 公共施設の公会堂 4. 中学校の講堂 5. 地域の会館
 - その他の会場名 _____
8. 貴園、独特の発表形式があれば書いて下さい。
（例 創作ミュージカル等）
9. 今までの発表会で園児に最も人気のあった出し物や作品名を記入して下さい。
- 劇あそび（ ） 5. 合 奏（ ）
 - オペレッタ（ ） 6. 言語劇（ ）
 - 合 唱（ ） 7. 大型紙芝居
 - 舞踊劇 （ ）
 - その他（ ）
- 以上

結果及び考察

貴園での発表会の名称については、各園それぞれ名称が催しの形によって違うので記入してもらうことにした。その結果、生活発表会と呼ばれているのが10園の52.6%，続いてゆうぎ会が6園の31.5%，クリスマス会、園遊会、あゆみ展と、1園づつである。

発表会が催されるのは何月頃ですかについては、図2、12月の8園の42.1%とクリスマス会をかねての出し物の多い季節と伺える。年あけて卒園までにと、2月始めの6園の31.6%と2月末の4園の21%となっている。

図3の稽古は何ヶ月から始められていますかについては、1ヶ月前の11園の57.9%に続いて、1ヶ月前半の4園の21%，2ヶ月前の3園15.8%となっている。うんどう会が9月末～10月初めに催され、秋の遠足も終わって、一息ついた時が11月であり、12月の発表会にめざして稽古に入るのが頂度1ヶ月前になるようだ。

プログラムに編成されている内容については、断然合唱が19園行われている。いずれも複数回答である。

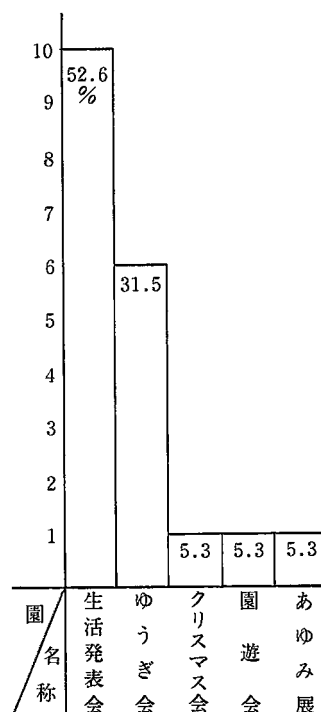


図1 発表会の名称

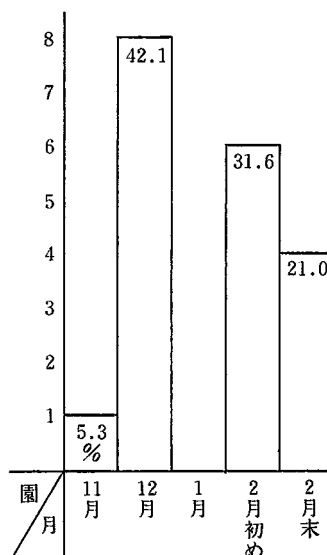


図2 発表会の月

続いての合奏も16園の園が奏でられている。舞踊劇は15園、オペレッタの10園、言語劇も10園と発表会にはいずれもかかせない出し物である。大型紙芝居の4園、

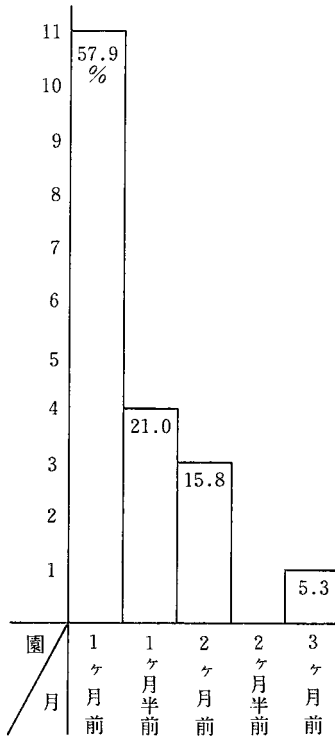


図3 稽古は何ヶ月前

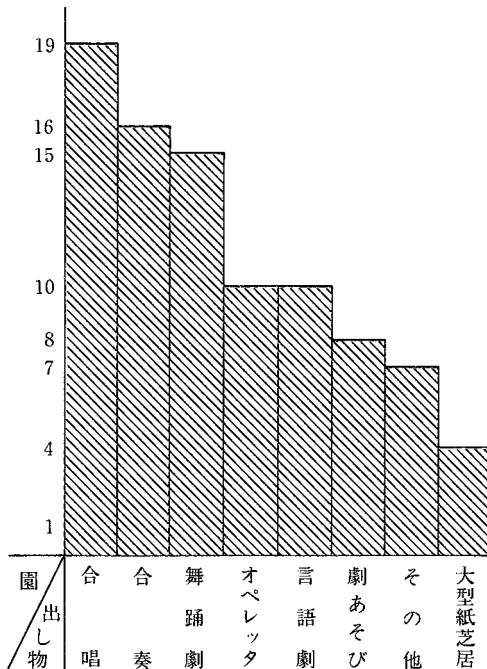


図4 プログラム内容

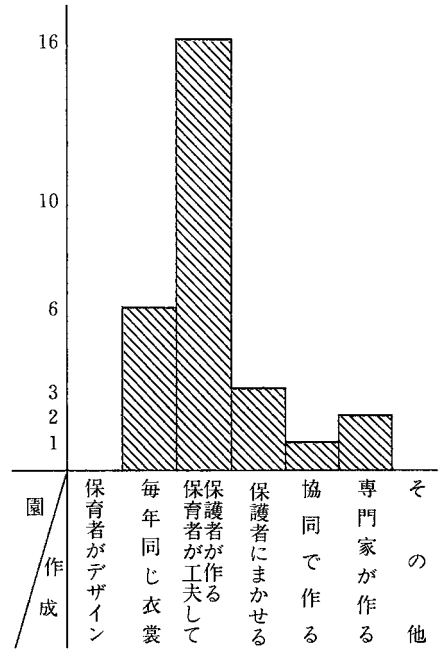


図5 衣裳作成

その他ではあやつり人形劇等、力を入れている園がみられる。

発表会の衣裳については複数回答であるが、図5、保育者が創意工夫して保護者に作ってもらうの16園、保育者と保護者が協同で作る、子ども達のために力をあわせて手伝っていることだ。毎年同じ衣裳の6園、毎年同じ出し物であれば無理して、衣裳をつくる必要はないであろう。保護者にまかせるの3園。専門家にまかせの2園である。公開する会場によっては専門家にお願いすることにもなるであろう。

大道具、小道具についても複数回答であるが、舞台のつくり方で、グッと雰囲気が変わり、大道具、小道具で子どもたちが大きくも、小さくも演じることが出来ることになると、保護者自身が力を入れていることになる16園、毎年同じの6園に、保育者と保護者協同と、保護者に依頼する一任するの各3園、その他ではかならず子ども達も道具づくりに参加させている、又は大道具は保育者、小道具は保護者と分けて作っている2園である。専門家の1園では、会場、舞台の広さによって専門家に依頼することになったのであろう。

会場はどこを利用していますかでは、自園の講堂を会場としている8園42.1%、小学校の講堂を借りて発表会を催す4園21%、又公共施設の公会堂や地域の会

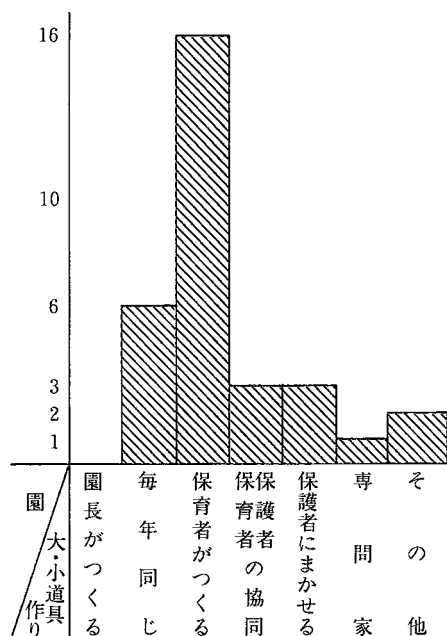


図6 大道具・小道具作り

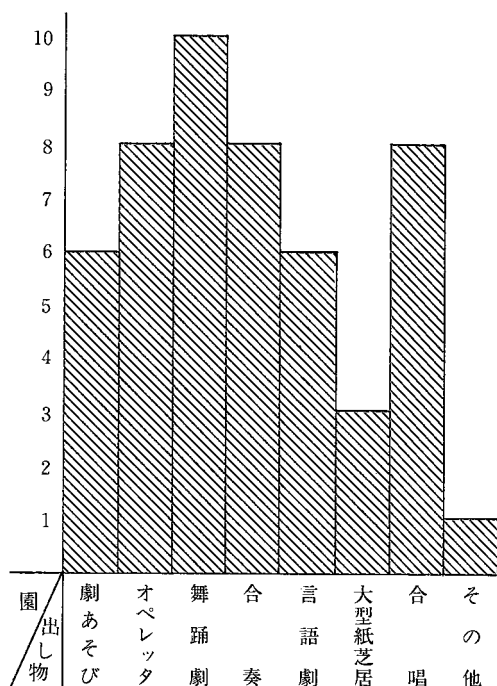


図8 出し物

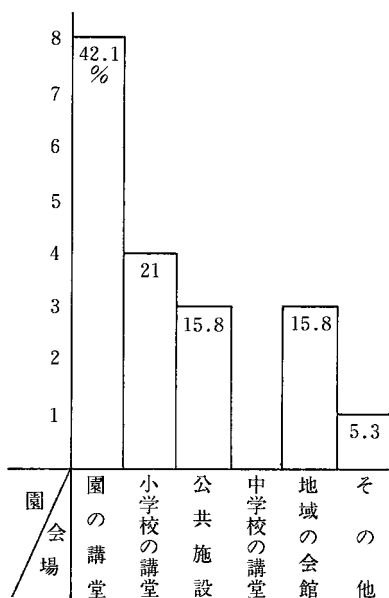


図7 会場

館の会場を借りて催す各々の3園の15.8%, その他では講堂がないので保育室を広げて舞台を組み立てて会を催す1園5.3%である。

貴園独特の発表形式があればの問いには16園84%が

無回答であった。3園の園では卒園前に打楽器や歌に力を入れたいと云う回答であった。

発表会で園児に最も人気のあった出し物と作品名をお願いした。複数回答で最も人気のあったのが舞踊劇の10園。合奏、オペレッタ、合唱の8園、劇あそびの6園、5園の言語劇。大型紙芝居の4園になっている。

作品名では子どもたちがとてもよろこぶ夢と、冒険もの、昔話、動物もの等、たのしい作品ばかりである。合奏、合唱も平素子どもたちが口ずさみ、リズムもとりにやすくよく知っている曲が選ばれているようだ。大型紙芝居では、舞台上で演じられない物語が子どもたちの夢をかなえられているようである。発表会では催されたなかで最も子どもたちの人気のあった作品名が表1の通りである。

ま と め

生活発表会の名称には、色々な催しの形でなされていると云えるでしょう又園の教育方針によって、ゆうぎ会、クリスマス会、あゆみ展と名称されると云うことである。

発表会の催される月は12月から2月中旬に催されている。幼児の園生活における活動の内容から考えて二

学期後半から三学期にかけてが適切であると言うことである。

稽古の練習に入るのは、1ヶ月前から始められている。セリフを暗記することから始まり、歌詞をおぼえ、リズムをとりながら踊りの振りもならない、こども達は決められた自分達の出し物に一生懸命練習に励み、お父さんお母さんやうちの人たちにみていただく、うれしい発表会の日を迎えると言うことだ。

プログラム編成では舞踊劇、劇あそびがだいたい中心になるが、ほとんどの園では合唱が100%、プログラムのなかに入っていることは、リズムは生活の一部であるから幼児たちはリズムに乗って、からだいっぱいにうたい、はげむことになると合唱の意義は大きい。合奏の場合も太太鼓、小太鼓、タンバリン、トライアングル、シンバルと家庭にない打楽器を、大勢のともだちと合同で合奏することは生まれてはじめての経験であり、それをみごとにオーケストラの編成として奏でられた時は、保育者は勿論のこと、うちの方々に感動をあたえるものと云えるでしょう。

発表会の衣裳はそれぞれの役役に応じて、保育者が創意工夫したものを保護者が作る。保護者に作っても

らうことは、子どもたちの発表会に対する期待を高めることが出来、行事の内容についての理解も深めることで意義は十分達成されるであろう。催す会場によっては舞台が大きくて、役柄衣裳が使えることは時間も手間もはぶけて、お金もかからずに会を催すことは大切なことである。

大道具、小道具では劇の内容や舞台の大きさによって保育者が主になって制作にあたっていることだ。そしてその他では子ども達と一緒に作る協同制作の楽しさと造形活動のよろこびが、教育的な意義につながり評価出来るのではないかと思う。又子ども達が新鮮な気持ちで表現活動出来るためにも、出来るだけ早くつくられ小道具のひとつ持つことだけでも表現意欲が一層高まっていくものだと云えるでしょう。

会場は自園で催されるのが園児も馴れて大変よいことであるが、出し物によっては大きな舞台も必要となるであろう。又園児数が100名以上近くなると観客数の収容にも限りがあることで、小学校の講堂や公共施設を借りることになるのはやむえないことでしょう。

貴園独特の発表会形式では無回答が多数であることは、内容は毎年変わっても、出し物形式が変わらな

表1

劇あそび	オペレッタ	合 唱	舞踊劇	合 唱	言語劇	大型紙芝居	その他
狼と七匹の子羊 大きなかぶ さるかに 三匹の羊のガラガラどん 一休さん さるじぞう みにくいあひる ブレーメン 金のがちょう 彦一ものがたり ねずみの嫁入り	大きなかぶ 海賊たちと宝島 白雪姫 金のがちょう うさぎのおうち 狼と七匹の子羊	アイアイホ・ホ・ホ こどもの世界 大きな古時計 人間ていいな 一年生になったら およげたいやきくん 南の国のハメハメ大王	大きなかぶ 白雪姫 親指姫 アラジンとまほうのランプ 白鳥のファンタジー チビクロさん うらしま太郎 赤いマントの闘牛士 おむすびコロリン みつばちマーチの冒険旅行 うらしま太郎 長靴をはいたネコ	マーチングマーチ おへそ おもちゃのチャチャ みつばちマーチ タヤけこやけ ドレミのうた クラリネットこわしちゃった クシコスボスト アマリリス 子象の行進曲 汽車ポッポ 犬のおまわりさん ジングルベル	ぶんぶく茶がま 3匹の子豚 ねずみの嫁入り こぶとりじいさん 赤ずきん みにくいあひるの子 思い出のアルバム	イソップ物語 ジャックと豆の木 ぐりとぐら ぐるんぱのようちえん たろうのおでかけ	毛槍道中 スペインの火まつり 少年剣士 すしにくいネー 日本舞踊

かったと云うことであろう。又先に述べたように卒園して行く園児のために演題、その他演出も考えられて合奏、とくに打楽器とか、ピアノに力を入れたと云うことである。

最も子ども達に人気のあった出し物は舞踊劇である。各園ではみんなのよく知っているストーリーであり、内容の中にも溶け込みやすく、明るく、楽しみながら表現活動が展開出来ることで、子ども達は音楽があり踊りのある劇が大好きだと云うことだ。いずれにしても発表会は、2月末に催されることは幼稚園生活のしめくりでもあり、集団生活の中で培われた子ども達の1人1人の成長、発達を考慮して発表会へとつながって行くのではないだろうか。

発表会を催すにあたり、保育者は発達段階に適したものを選び、また人数を考えたり、適切な作品を創作したり選択したり、計画的に指導に心がけて行かなければ

ならないのでしょう。又それ以外には、当日の舞台進行や放送効果、会場整備、室内接待とした組織の運営にもあたらなければならない役割もあると云うことだ。発表会は発表会を通して保育者と子ども達の大きく飛躍して行くふれ合いと励ましの場であり、教育的効果につながることで意義が大きいことがわかり、又、卒業生の活動振りにふれることが出来たことである。幼児教育学科学生も、童話や絵本に、歌唱、合奏そして表現活動に一層意欲的に活動して行くことが大切なことだと云うことである。

引用参考文献

友松諦道 新しい園行事の持ち方 ひかりのくに
山本慕雄 年中行事の活し方100例 ひかりのくに
上村映雄 年中行事の演出法 ひかりのくに
幼児と保育選書4 楽しい誕生会・発表会 小学館

Summary

Like "The day of School Sports," which was mentioned in the last paper in the school bulletin vol. 20, six years have passed since the start of the annual event "Yugikai or The Day of Performance by Children at Kindergarten" sponsored by the department of early childhood education. For students, who can not have much practical experience, it is important to find out how such "Yugikais" are planned and performed at kindergartens, so the writer conducted a survey focusing on this point with cooperation of kindergarten teachers who are graduates of this school. To this survey, 19 out of 30 kindergartens responded.

As the result of the survey, the writer found that various things were performed for the event; singing in chorus was the most popular performance and was performed at all kindergartens in the survey, and other things which were performed for the event were ensemble performance, dance drama, opretta, play, role play, wide-size picture-card show and performance related to children's favorite fairy tales. Thus the writer concluded this event should be a stimulus for children through the planning and performance activities and should be very meaningful for both children and their teachers in that way.